

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	東高根森林公園		
所在地	川崎市宮前区神木本町2丁目		
サイトURL	https://higashitakane.com/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和53年4月25日)		
指定管理者名	株式会社石勝エクステリア		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横浜川崎治水事務所 川崎治水センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<ul style="list-style-type: none">・利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はA、収支状況の評価はSで、3項目評価はSとなった。・公園資源の積極的な活用が昨年度から引き続き図られており、利用状況が最高評価となっている。また、令和4年度の実績を踏まえた収支管理によって、収支状況がS評価と昨年度から上がることとなった。・利用者の満足度のみA評価なので、今後はより+αの魅力を発信し、利用者満足度の拡充に期待したい。
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況<ul style="list-style-type: none">・概ね提案事項が実施された。実施されなかった項目も代替のイベントを実施する等の対応が図られた。次年度以降は、園内の自然的資源と歴史的資源をメインとしたイベントの開催に期待する。◆利用状況<ul style="list-style-type: none">・昨年度から利用者数が1万人増え、対前年度比102.2%、目標達成率122.2%を達成し、S評価となった。今後も引き続き、来園促進の取り組みに期待する。◆利用者の満足度<ul style="list-style-type: none">・利用者満足度調査では昨年度とほぼ変わらず、上位2段階の回答割合が81.2%であり、A評価となった。今後も積極的な魅力増進に取り組んでほしい。◆収支状況<ul style="list-style-type: none">・昨年度の収支を参考に不必要な支出の管理を徹底したため、収入合計/支出合計の比率が109.77%となり、S評価となった。◆苦情・要望等<ul style="list-style-type: none">・園内利用者のマナーに関する要望が多数あったため、注意喚起を強化するとともに看板を設置した。・隣接地からの剪定、除草に関する要望が数件あったが、速やかに対応した。◆事故・不祥事等<ul style="list-style-type: none">・落ち枝による来園者の負傷があった。また偶然負傷者が出なかった落ち枝や倒木が多数確認された。後期からは園内の枯損木について改めて危険度マップを作成し、積極的に樹木管理を行った。今後も積極的な樹木管理を心掛けてもらいたい。◆労働環境の確保に係る取組状況<ul style="list-style-type: none">・県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はなし。◆その他<ul style="list-style-type: none">・以上を総合的に勘案し、令和5年度の3項目評価についてはS評価とした。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
S	S	A	S	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	県と指定管理者との間で定例打合せを行い、月毎の業務実績及び計画の確認と課題の共有を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
自然環境保全ミーティングを発足し、園内自然環境の保管理方針設定に向けた討議を行う。	自然環境保全ミーティングを3回実施し、公園内で行った植生調査結果の報告、結果を踏まえた管理方針案について討議した。	討議内容が、今後の維持管理等に活用されることを期待する。
公園の環境を生かした利用促進を行う。	園内の田んぼを利用した体験や芝生広場を利用したヨガ教室等様々なイベントを開催し、どれも概ね定員数に達している。	園内の自然的資源・歴史的資源を活用したイベントの更なる拡充に期待する。
地域と連携した利用促進を行う。	地域と連携した大規模イベントの開催や2回の自治会・町内会連絡調整会議を実施している。	地域との連携を継続に努めている。
・古代植物園の植物を利用した講習会の実施（2回/年） ・古代植物園にちなんだ講習会	植物園の状態が悪いため未実施。代替として宮前区役所向丘出張所主催のボランティア講座にて、公園の花壇を活用した花の育成にまつわる講座を実施。R5度は補植・日照改善を実施。整備が整い次第実施の予定。	古代植物園再生プロジェクトとして、今後もボランティアと協力し、植物園が改善されることが望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
キッチンカーによる飲食販売。	昨年に引き続きイベントでの試行出店を実施している。
福祉関連施設が生産・製造している物品販売。	宮前区の福祉団体と連携し、常時アート作品を販売している。
東高根森林公園ガイドブックの発行	次年度発効に向け、ガイドブック作成に必要な情報の収集を実施している。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
S	

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	432,460	478,001	488,674
対前年度比		110.5%	102.2%
目標値	350,000	385,000	400,000
目標達成率	123.6%	124.2%	122.2%

目標値の設定根拠： 提案書の目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
A	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者にて通年で紙、Webによるアンケート及び年2回来園者へ直接配布によるアンケート調査を実施。	指定管理者による通年アンケート及び直接配布したアンケートの集計結果を使用する。8割以上の利用者から高評価を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布、QRコード 回収数/配布数 141 / 141 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	79	34	20	3	5	141	・散策しやすい。 ・古代植物園の説明版が読みにくい。
回答率	56.0%	24.1%	14.2%	2.1%	3.5%		
前年度の回答数	102	60	21	9	6	198	
前年度回答率	51.5%	30.3%	10.6%	4.5%	3.0%		
回答率の対前年度比	108.8%	79.6%	133.7%	46.8%	117.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	49,586	0	10,110	駐車場： 7,100 自販機： 3,010	59,696	59,696	0	
	決算	49,586	0	12,149	駐車場： 8,942 自販機： 3,207	61,735	62,378	-643	98.97%
前年度	当初予算	49,200	0	11,461	駐車場： 8,561 自販機： 2,900	60,661	60,661	0	
	決算	49,200	0	11,916	駐車場： 8,809 自販機： 3,107	61,116	60,366	750	101.24%
令和5年度	当初予算	49,200	0	11,681	駐車場： 8,618 自販機： 3,063	60,881	60,881	0	
	決算	49,200	0	11,593	駐車場： 8,570 自販機： 3,023	60,793	55,381	5,412	109.77%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	口頭	2 件	①駐車場のアイドリングについて ②隣接地からの剪定、除草要望（2件） ③駐車場の運営について	①注意喚起を強化。 ②要望後速やかに剪定、除草を実施。 ③今後も駐車場の利用状況を注視し、必要であれば有料化の検討を行うとした。
	電話	2 件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他	口頭	2 件	①地域猫について ②トイレの案内不足について ③犬の放し飼い利用者について ④園内の三脚利用について	①園内の地域猫について方針説明。 ②トイレに関する張り紙を掲示。 ③注意喚起を強化。 ④園内の三脚利用に関する案内板を設置。
	電話	2 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R5. 4. 11	①園路上で落ち枝が発生し、歩行中の来園者をかすめた。歩行者は出血はないが、皮膚の皮がむける擦り傷を負った。 ②4月11日 電話及び事故報告書にて確認。 ③4月11日 指定管理者が病院への受信を進めたが、負傷者はこの程度なら必要ないと拒否したため、何かあれば連絡をいただくようお願いをした。その後連絡はなし。落ち枝は回収し、落ち枝が発生した枯損木は当年5月～6月に緊急対応として伐採を行った。 ④無 ⑤無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。